

大気汚染常時監視測定結果 ～平成30年度～

二酸化硫黄

環境基準については、長期的評価では全9測定局で達成しましたが、短期的評価では姉崎測定局が未達成でした。

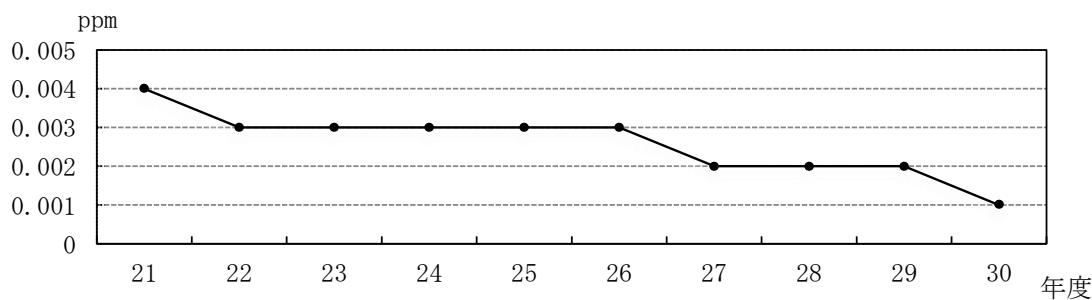
一般局の二酸化硫黄の年平均値は、減少傾向で推移しています。

二酸化硫黄環境基準達成状況

測定局名	種別	環境基準					
		短期的評価			長期的評価		
		1時間値が0.1ppm以下であること、かつ、1日平均値が0.04ppm以下であること			1日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であること、かつ、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと		
		1時間値の最高値(ppm)	1日平均値の最高値(ppm)	環境基準との比較	1日平均値の2%除外値(ppm)	1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較
姉崎	一般	0.178	0.014	×	0.007	無	○
八幡	一般	0.023	0.007	○	0.004	無	○
辰巳台	一般	0.016	0.004	○	0.003	無	○
廿五里	一般	0.033	0.006	○	0.004	無	○
有秋	一般	0.099	0.013	○	0.004	無	○
奉免	一般	0.013	0.003	○	0.002	無	○
郡本	一般	0.021	0.005	○	0.004	無	○
五井	一般	0.053	0.006	○	0.005	無	○
五井自排	自排	0.083	0.011	○	0.009	無	○
中川田自排	自排	0.023	0.011	－	0.008	無	－

※中川田自動車排出ガス測定局のデータは有効測定日数等を満たしていないため参考値とします。

一般局の二酸化硫黄年平均値経年変化



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。

窒素酸化物

二酸化窒素

環境基準については、全12測定局で達成しました。また、県の定める環境目標値についても、全12測定局で達成しました。

一般局の二酸化窒素の年平均値は、減少傾向で推移しています。

一酸化窒素

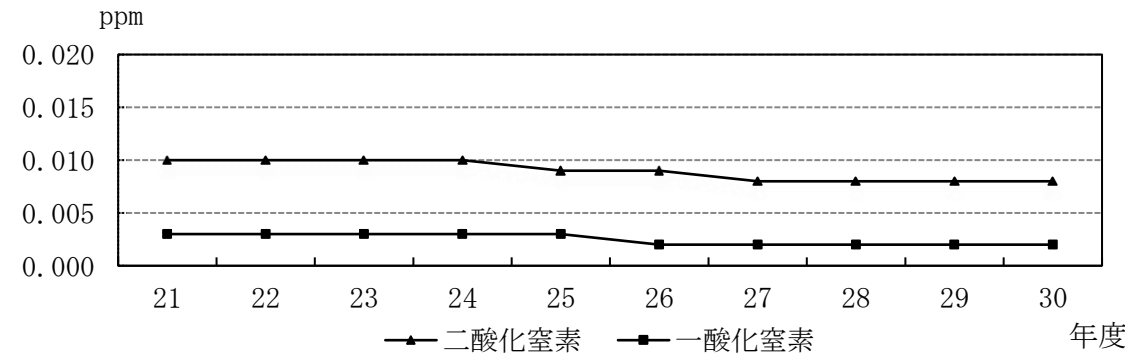
一般局の一酸化窒素の年平均値は、減少傾向で推移しています。

二酸化窒素環境基準等達成状況

測定局名	種別	環境基準		千葉県環境目標値
		1日平均値の年間98%値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること		1日平均値の98%値が0.04ppm以下
		1日平均値の98%値(ppm)	環境基準との比較	環境目標値との比較
姉崎	一般	0.026	○	○
八幡	一般	0.029	○	○
辰巳台	一般	0.023	○	○
廿五里	一般	0.024	○	○
有秋	一般	0.024	○	○
松崎	一般	0.017	○	○
奉免	一般	0.018	○	○
潤井戸	一般	0.023	○	○
平野	一般	0.015	○	○
郡本	一般	0.025	○	○
五井	一般	0.028	○	○
五井自排	自排	0.029	○	○
中川田自排	自排	0.029	-	-

※中川田自動車排出ガス測定局のデータは有効測定日数等を満たしていないため参考値とします。

一般局の二酸化窒素および一酸化窒素年平均値経年変化



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。

光化学オキシダント

環境基準については、全9測定局で未達成でした。

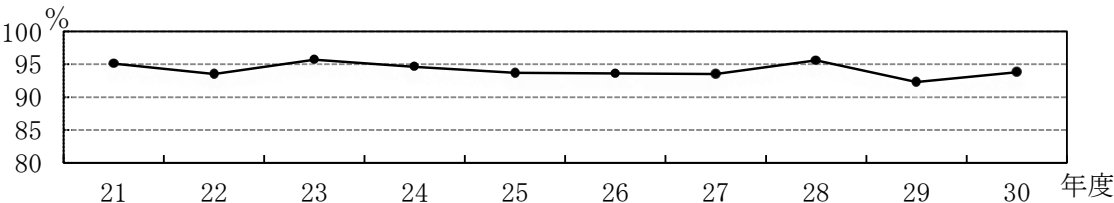
全9測定局の昼間(5時から20時)の時間達成率は93.0%～94.7%、平均は93.8%と
ほぼ横ばいで推移しています。

光化学オキシダント環境基準達成状況

測定局名	種別	環境基準(1時間値が0.06ppm以下であること)			
		昼間の1時間値 の最高値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数と日数		環境基準 との比較
			ppm	時間数	
姉崎	一般	0.146	301(5.5)	63(17.3)	×
八幡	一般	0.141	340(6.2)	70(19.2)	×
廿五里	一般	0.129	371(6.8)	73(20.0)	×
松崎	一般	0.124	380(7.0)	67(18.4)	×
奉免	一般	0.119	296(5.4)	59(16.2)	×
潤井戸	一般	0.131	357(6.5)	67(18.4)	×
平野	一般	0.129	289(5.3)	55(15.1)	×
郡本	一般	0.136	361(6.7)	71(19.6)	×
五井	一般	0.129	368(6.7)	72(19.7)	×

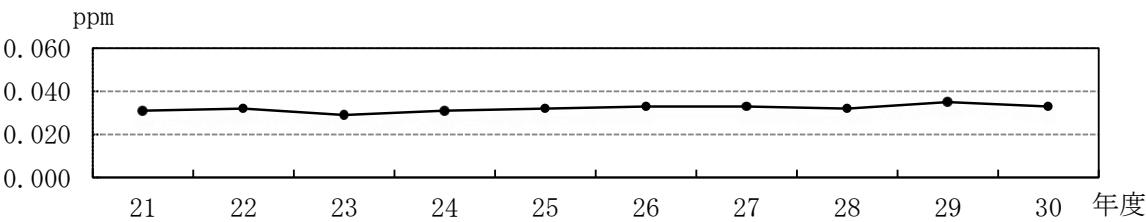
- 注 1. ×は環境基準未達成
2. ()内は測定日数または測定時間数に対する割合(%)

一般局の光化学オキシダントの時間達成率の経年変化



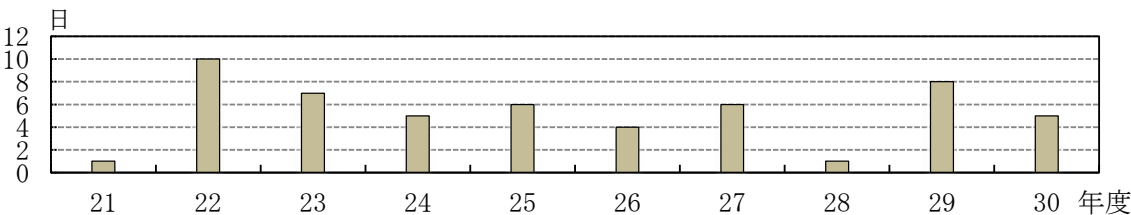
※ 図は各一般局の時間達成率の平均値で表しています。

一般局の光化学オキシダント年平均値経年変化(昼間)



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。

光化学スモッグ注意報発令日数の経年変化



一酸化炭素

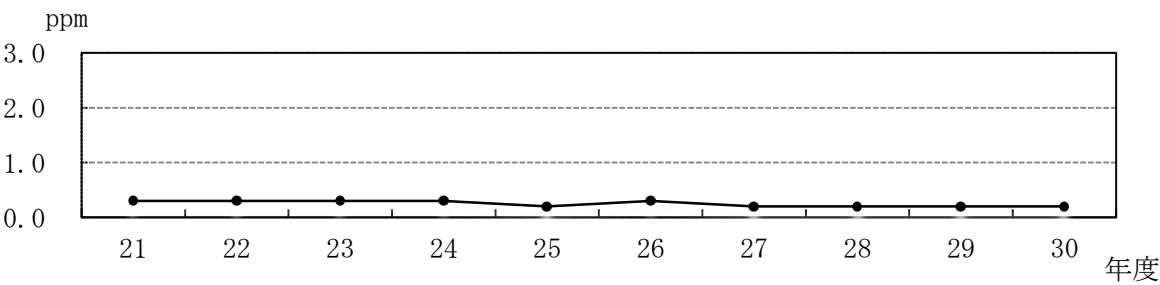
環境基準については、全2測定局で長期的評価及び短期的評価を達成しました。
 一般局の一酸化炭素の年平均値は、低い濃度で推移しています。

一酸化炭素環境基準達成状況

測定局名	種別	環境基準							
		短期的評価					長期的評価		
		8時間平均値が20ppm以下であること、かつ、1日平均値が10ppm以下であること					1日平均値の2%除外値が10ppm以下であること、かつ、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと		
		8時間平均値が20ppmを超えた回数と割合		1日平均値が10ppmを超えた回数と割合		環境基準との比較	1日平均値の2%除外値	1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較
		回数	割合	回数	割合		ppm		
郡本	一般	0	0.0	0	0.0	○	0.5	無	○
五井自排	自排	0	0.0	0	0.0	○	0.6	無	○
中川田自排	自排	0	0.0	0	0.0	-	0.5	無	-

※中川田自動車排出ガス測定局のデータは有効測定日数等を満たしていないため参考値とします。

一般局の一酸化炭素年平均値経年変化



浮遊粒子状物質

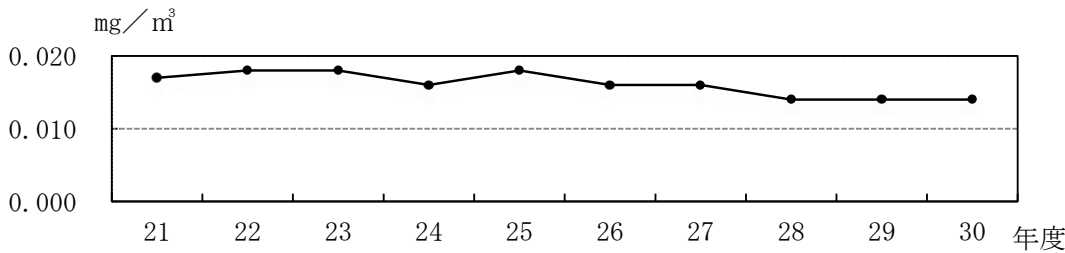
環境基準については、全12測定局で長期的評価及び短期的評価を達成しました。
一般局の浮遊粒子状物質の年平均値は、ほぼ横ばいで推移しています。

浮遊粒子状物質環境基準達成状況

測定局名	種別	環境基準					
		短期的評価			長期的評価		
		1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること、かつ、1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であること			1日平均値の2%除外値が0.10mg/m ³ 以下であること、かつ、1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと		
		1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間	1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	環境基準との比較	1日平均値の2%除外値	1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較
		時間	日		mg/m ³		
姉崎	一般	0	0	○	0.038	無	○
八幡	一般	0	0	○	0.041	無	○
辰巳台	一般	0	0	○	0.038	無	○
廿五里	一般	0	0	○	0.030	無	○
有秋	一般	0	0	○	0.036	無	○
松崎	一般	0	0	○	0.041	無	○
奉免	一般	0	0	○	0.038	無	○
潤井戸	一般	0	0	○	0.038	無	○
平野	一般	0	0	○	0.036	無	○
郡本	一般	0	0	○	0.038	無	○
五井	一般	0	0	○	0.039	無	○
五井自排	自排	0	0	○	0.042	無	○
中川田自排	自排	0	0	-	0.026	無	-

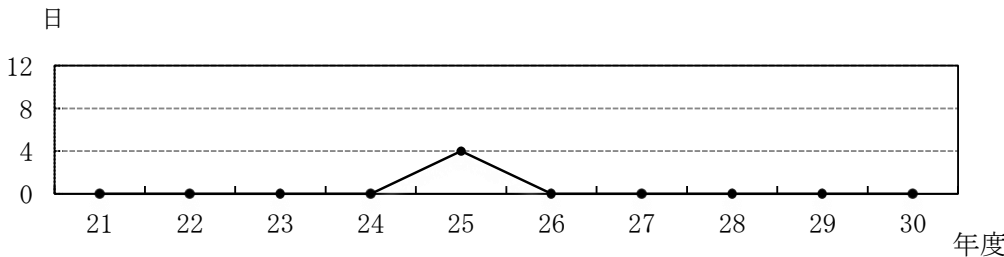
※中川田自動車排出ガス測定局のデータは有効測定日数等を満たしていないため参考値とします。

一般局の浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。

一般局の浮遊粒子状物質の日平均値が0.10mg/m³を超えた延べ日数



微小粒子状物質（PM2.5）

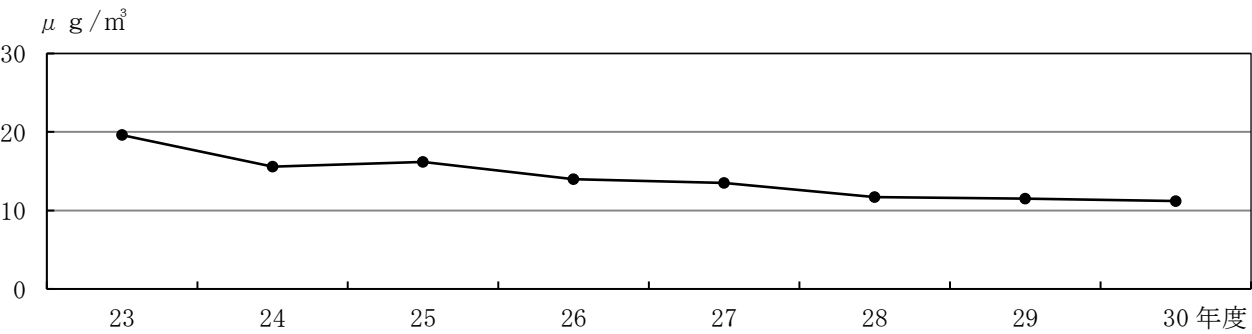
環境基準については、全6測定局で達成しました。
 一般局のPM2.5の年平均値（平成23年度測定開始）は、減少傾向で推移しています。

微小粒子状物質（PM2.5）環境基準達成状況

測定局名	種別	環境基準 達成状況	短期基準に関する評価		長期基準に関する評価	
			1日平均値の年間98%値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下		1年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	
			1日平均値の年間98%値	短期基準 との比較	1年平均値	長期基準 との比較
			$\mu\text{g}/\text{m}^3$		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
姉崎	一般	○	24.8	○	10.4	○
八幡	一般	○	26.1	○	11.7	○
廿五里	一般	○	24.0	○	10.0	○
潤井戸	一般	○	23.4	○	8.4	○
郡本	一般	○	30.7	○	14.7	○
五井	一般	○	27.1	○	12.0	○

※微小粒子状物質は、短期基準及び長期基準の両方を達成したとき、環境基準達成となります。

一般局の微小粒子状物質（PM2.5）の年平均値の経年変化



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。

非メタン炭化水素

非メタン炭化水素は、測定を行っている3測定局で指針値を超過しました。

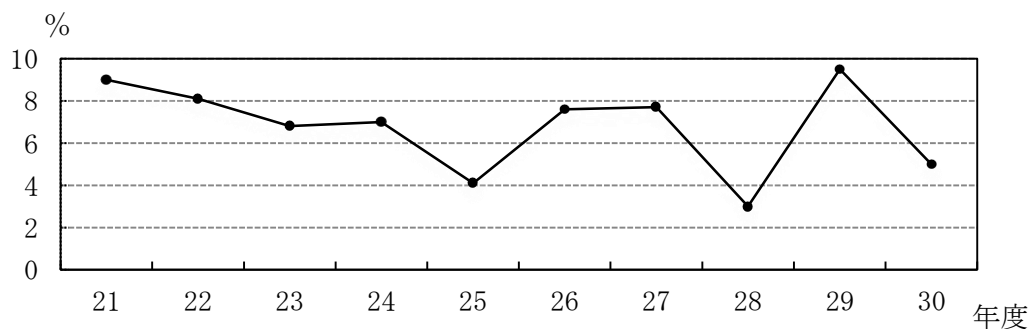
一般局の非メタン炭化水素の年平均値は、0.20ppmC以下で横ばいで推移しています。

非メタン炭化水素濃度状況

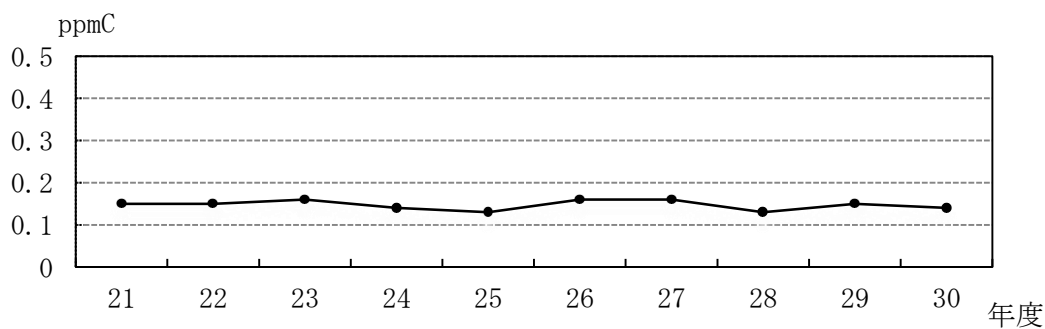
測定局名	種別	指針：午前6時～9時の3時間平均値が0.20～0.31ppmCの範囲にあること				
		6～9時 測定日数	0.20ppmCを超えた日数と その割合		0.31ppmCを超えた日数と その割合	
		日	日	%	日	%
姉崎	一般	363	99	27.3	30	8.3
郡本	一般	350	39	11.1	6	1.7
五井自排	自排	322	56	17.4	11	3.4
中川田自排	自排	39	6	15.4	1	2.6

※中川田自動車排出ガス測定局のデータは有効測定日数等を満たしていないため参考値とします。

一般局の非メタン炭化水素濃度が0.31ppmCを超えた日数の割合の経年変化

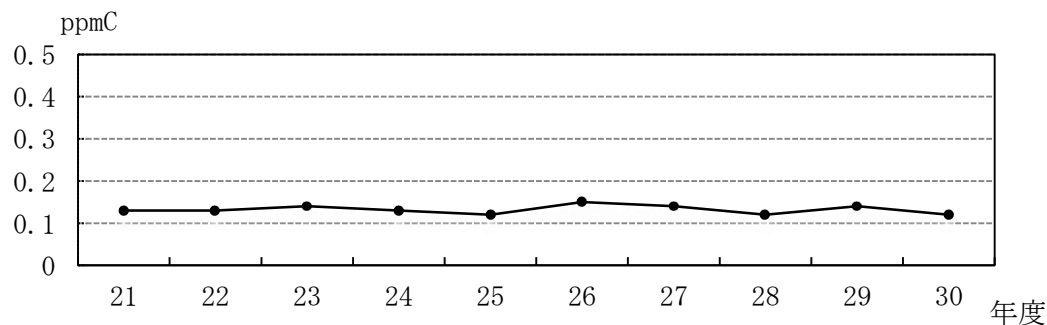


一般局の非メタン炭化水素の午前6時から9時の年平均値の経年変化



※ 図は各一般局の午前6時から9時の年間平均値の平均値で表しています。

一般局の非メタン炭化水素の年平均値の経年変化



※ 図は各一般局の年間平均値の平均値で表しています。